

# 非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 豊島 達哉 梅田 章二  
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)  
TEL.06 (6765) 3032 FAX.06 (6765) 3033  
URL・https://hikaku-osaka.jp/  
E-mail・hikaku-osaka1986@kind.ocn.ne.jp  
hikakuosaka@hotmail.com



第221号 2024年5月1日

## ニュース

# 非核日本キャンペーンの成功を



## 原水爆禁止運動の原点から学ぶこと

ビキニ事件から70年をむかえる今年の3・1ビキニデー集会に参加された当会の松山奉史常任世話人から報告をいただきました。

日本原水協は2月に今年度の運動方針を決定し、「ビキニ水爆被災70年から被爆80年へ」非核の日本をめざす全国キャンペーン（略称「非核日本キャンペーン」）の開始を提起しました。キャンペーン期間は今年3月1日から来年8月31日まで。この提起は、「核兵器のない平和な世界を日本の核兵器禁止条約への参加で切り開き、被爆者の生きている間に核兵器の廃絶を」との願いを実現しようと



打ち出されました。このキャンペーンを提起した背景には、①今年度は米国のブラボ水爆実験で被災してから70年の節目の年に当る、②来年は広島・長崎に原爆が投下されてから80年の節目の年を迎える、③来年3月には核兵器禁止条約の締約国会議がニューヨークで予定されている、④今年7月に第11回NPPT再検討会議に向けた第2回準備会議がジュネーブで開催される、など重要な歴史的時期を迎えることがあります。



的時期を迎えることがあります。

さらには、⑤核兵器禁止条約が発効してから3年が経ち、署名国は93ヶ国（批准国は70ヶ国）に達し国連加盟国の過半数にあつたこと、国内からは唯一の戦争被爆国日本が条約に参加することを求める声が強まっている、その一方で、⑥ウクライナ侵攻では核兵器大国ロシアが核兵器の使用をちらつかせ、核保有国とみなされているイスラエルがパレスチナ・ガザ地区を攻撃して、核戦争の脅威が再び顕在化している、ことがあります。

の有権者の約65%を集め、原水爆禁止運動や原水禁世大会を生み出しました。これに学び「非核日本キャンペーン」は「あ

のビキニ署名のように」を合言葉としてスタートし、今年の3・1ビキニデー集会は「非核日本キャンペーン」のスタート集会ともなりました。このキャンペーンが成功裡に達成できた暁には、今年のビキニデー集会は核廃絶運動の歴史的画期として銘記され、永く語り継がれることになるだろうと予想されます。

（写真は焼津・弘徳院の久保山愛吉氏のお墓と献花墓参行進）

### 【非核五項目】

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶を実現する非核三原則を厳守する
- ② 日本は核武装化へのすべを徹底的に阻止する
- ③ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ④ 国際連帯を強化する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会の開催を強く求める



昨年末、岸田政権は「防衛装備移転三原則」と運用指針を改定し、殺傷能力のある武器輸出の規制を大幅に緩和し、国際紛争が激化している今日の世界にそれを助長し、日本製の武器が子どもたちの生活・生命を破壊する行為に加担しようとしています。こうした武器輸出の実態を明らかにした書籍があります。発行は2016年です。8年も前の書籍



ですが、現在も学ぶことの多い名著です。

『武器輸出大国ニッポンでいいのか』(あけび書房)は池内 了・古賀茂明・杉原浩司・望月衣塑子四氏が2016年「武器輸出反対ネットワーク」の発足集会に異なるジャンルから発言された方々のレポートです。「1章 戦争を欲する社会にしてはならない」は元経産官僚が見る武器輸出解禁「悪魔の成長戦略」のサブタイトルがつく古賀茂明氏の告発文です。

「2章 国際化する武器輸出」は武器輸出ビジネスの最前線から見えることのサブタイトルがつくジャーナリスト望月衣塑子氏のレポートです。

「3章 急進展する軍楽共同にどう抗するか」は問われる科学者の社会的責任のサブタイトルがつく池内了氏の研究者の立場の訴えです。最後は「4章 『死の商人国家』にさ

の商人国家』にさ



せないために」は武器輸出反対ネットワークの取り組みのサブタイトルがつく杉原浩司氏の市民運動の訴えです。「あとがきに代えて」で杉原氏は、憲法9条の理念を具現化した武器輸出三原則は日本の市民が選び取ったものであり、2016年現在において「死の商人国家」に向かう危険な流れを明らかにしたうえで、それに抗する論理と人々の姿を浮き彫りにし、武器輸出や軍楽共同に反対する草根の動きをより力強く、確かなものにしていきたい、本書のねらいを語られます。本書が発行されたこの時期、イエメンでサウジ主導の空爆があり、子どもた

ちに被害がありました。その空爆に使用された武器は米英が供給したものです。今、ウクライナやガザで同じことが繰り返されています。2024年現在、改めて本書を読み返す意義は大きいと思います。

あけび書房 1500円+税

## 国民 大行進

1979年の平和行進  
：統一世界大会への期待がふくらむ平和行進

(コト)

核兵器廃絶、被爆者援護、原水爆禁止の国民的統一と統一世界大会の実現をめざす国民平和大行進は、東京↓広島↓のメインコースをふくめ幹線コースだけでも13本。5月16日に各界著名21氏の「原水爆禁止運動の前進のために」と題する呼びかけを支持し、原水爆禁止79年世界大会の開催の開催と成功や統一的な国民組織をできるかぎり早くつくることなどを訴えています。

5月15日に国民平和大行進中央実行委員会が結成され、19日に東京↓広島↓のメインコースが出発し、7月1日、京都、奈良県より大阪府に入りました。府内には「原水爆禁止運動の統一をめざす大阪連絡会」(新宮良正事務局長)が中心になって取り組みました。

具体的な内容は以下の通りです。

「Aコース」(7月1日 京都より引継ぎ)  
\*7月2日河内長野市役所↓富田林市役所↓羽曳野市役所↓藤井寺市役所↓松原市役所(延べ430人)  
\*7月3日八尾市役所↓東大阪市役所↓大手前(延べ500人)  
\*7月4日大阪府立病院前(住吉区)↓天王寺公園↓中之島公園↓守口市役所(延べ400人)  
\*7月5日守口市役所↓門真市役所↓寝屋川市役所↓枚方市役所(延べ500人)  
\*7月6日高槻市役所↓茨木市役所↓摂津市役所↓吹田市役所(延べ400人)  
\*7月7日豊中市役所↓池田市役所↓川西市役所↓兵庫県に引継ぎ(延べ250人)

「Bコース」  
\*7月2日泉佐野市役所↓貝塚市役所↓岸和田市役所↓忠岡町役場↓和泉市役所(延べ300人)  
\*7月3日和泉市役所↓泉大津市役所↓高石市役所↓浜寺公園↓堺市役所(延べ170人)

「Cコース」  
\*7月4日西淀川区役所↓塚本北口↓十三↓西中島南方↓崇禅寺↓淡路↓菅原西公園↓東淀川区役所↓西大道町三↓豊里大橋↓太子橋↓守口市役所(延べ140人)

「Dコース」  
\*7月4日大正駅前↓境川↓九条南↓安治川トンネル↓西九条↓新家↓吉野町↓野田阪神↓西大淀↓中津↓豊崎神社前↓長柄西通↓毛馬橋↓赤川↓今市↓守口市役所(延べ200人)

7月2日、梅雨明けの曇り空のもと基幹コースの河内長野市役所前を出発した行進団は、衛都連の組合員をはじめめ婦人、青年、業者ら約200人が参加、行進の先頭には日本山妙法寺の僧侶6人が行進をし、富田林から羽曳野に向かいました。羽曳野市役所に到着した行進団は津田一朗羽曳野市長をはじめ、市職員らの出迎えをうけました。

参加人数は延べ10日間で3290人。配布ビラは1万枚でした。統一世界大会にみられる原水爆禁止運動の高まりは、沿道での反響、行進参加者の増加にみ

られるよう非常に良かった、と総括しています。とくに雨の中での岸和田・忠岡町で商店街の人々が店の前から激励していただいた。

中央団体のリレー旗が出された国公、運輸一般、医労連、新婦人、平和委員会、全商連、民医連などは連日の参加で行進全体を大きく盛り上げました。

通過自治体からは首長、議長から核兵器廃絶、被爆者援護、統一世界大会成功のメッセージが寄せられました。最終日の池田市役所

前の歓迎集会には池田被害者の会会長の挨拶、社会党の議員も出席していました。一方、天



▲京大複合原子力科学研究所見学会に参加の皆さん

王寺公園前で右翼の宣伝カーがうろつくような行動がありました。  
 【参考資料】  
 ＊「大阪民報」1979.7.3付  
 ＊「大阪民報」1979.7.7付



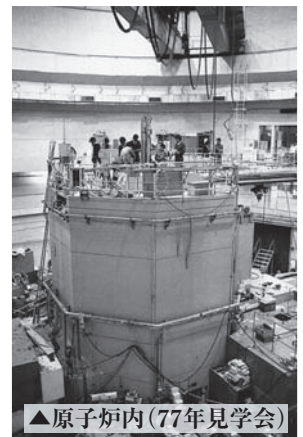
左：河内市を富へ  
 長野所出林  
 田(7.2)  
 右：淀共  
 区関前  
 進(7.4)

## 見学会

研究炉終了をまじかに控えて「京都大学複合原子力科学研究所及び原子燃料工業株式会社工場見学会」  
 当会の恒例行事である京都大学複合原子力科学研究所の見学会を今年も4月6日に開催しました。恒例とはいえコロナ禍で2020年以降開催していません。また京都大学複合原子力科学研究所の見学会は今年5月には運転終了となるため、見学会は今後行われるとしても1回か2回しかなく、また今年には久々に原子燃料工業（原燃工）の工場の見学会もあり、大変貴重な機会となりました。見学会ではまず、原燃工の工場見学をしました。原燃工では原燃の燃料を作っているのですが、原料である二酸化ウランの粉末から、燃料集合体を作成する工程を社員の方の説明とともに見学しました。ウランという非常に危険な素材を扱う作業工

程であり、また製品に少しでも不良所があると、原燃の稼働で重大な事故が起る危険があることから、細心の注意を払って作業が行われていることはよくわかりました。原燃は燃料作成に限らず全過程において、優秀な作業員の細心の注意を払っての作業に支えられているのでしょうか。しかしそれは、そもそも原燃がとんでもなく危険なものであることによるものです。電力の安定供給のために、これほどまでに危険な作業を積み重ねなければならぬ原燃に依存する必要があるのか、改めて考えさせられました。

続いて京大複合原子力科学研究所の見学会では、研究用原子炉と、イノベーションリサーチラボトリーの見学をしました。研究用原子炉は核分裂によって発生した中性子を利用して、様々な分野の研究が行われている説明を受けました。またイノベーションリサーチラボトリーで見た装置は、陽子を高速（光速の2分の1）に加速するための巨大な装置でした。高速に加速した陽子を次の装置に送り、中性子を作り、様々な研究に役立てているとのこと。研究用原子炉は再来年に運転終了となりま



▲原子炉内(77年見学会)

究炉がいつできるのか、また試験研究炉はどのような形態のもので、その運用はどのようになされるのか、熊取の研究用原子炉が廃炉になった後も、注目をしているかねばならないと思います。

(原子炉内の写真は過去の見学会、現在は写真撮影は禁止)

\*\*\*\*\*  
「見学会に参加して」  
\*\*\*\*\*

斉藤 健

以前から念願していた見学会に参加できました。企画された「非核の会」の皆さま、ありがとうございます。

原子燃料工業(株)の職員の対応は非常にいいねいで世論に対する配慮を感じました。見学会中に松山先生が「排気ダクトに、ウラン粉末170kgがたまっていたことをどう思うか」と質問されました。臨界量に達すれば核分裂反応が連続して起こります。外部への漏洩や従業員の被曝は確認されていないというこ

とです。ウラン燃料の製造工程は見学できませんでしたが、事業所に対する市民の注目、監視は必要だと思いました。松山先生は手づくりの実物大「燃料ペレット」模型を配布して下さいました。実地見学の大切さを学びました。ありがとうございます。

非核日本キャンペーン  
原爆展開催

日本原水協は、「ビキニ水爆被災70年から被爆80年へ」非核の日本をめざす全国キャンペーン(略称「非核日本キャンペーン」)を行います。キャンペーンは、広島・長崎の被爆80年にあたる2025年8月末日までつづけます。

日本原水協は、その提案の具体化第一弾として3月30日と31日の2日間大阪府社会福祉会館で「2024年広島・長崎原爆写真パネル展」を行いました。



ニ・太平洋の核実験被害の実相を、写真パネルなど活きた資料を通じて伝える②広島、長崎の被爆者、ビキニなど水爆実験の被害者や関係者の証言を伝え、被害の実態と被害者への救援を進める。③「ビキニ事件」の署名のよ

うに、全国のすべての地域、学園、職場から日本の核兵器禁止条約参加を求める署名にとりくむ。の3点が提起されています。

大阪原水協はその提案の具体化第一弾として3月30日と31日の2日間大阪府社会福祉会館で「2024年広島・長崎原爆写真パネル展」を行いました。

2日間で来場いただいたのは70人でした。参加者は1つ1つの写真パネルを見て、説明文を読んで、原爆の恐ろしさを感じているようでした。

感想分も用紙いっぱい書かれていました。「写真パネルは実相が伝えられて心に響きます。」「以前と比べて本当に原爆や戦争の悲惨さを伝える番組が減つ

た気がします。」「いつも見ても気持ちが悪くなられる思いがします。」「2度と悲劇が起らないよう核兵器禁止条約に日本は署名すべきです。戦争のない世の中実現のため本当のことを知らせることの大切さを感じます。」「なんとも残酷な写真ばかりで何回みても胸がつぶれる思いです。」「原爆の恐ろしさを身近に考

えてほしいと思います。」「来年は被爆80年広島長崎の被爆者も少なくなり、体験を語る人もいつかはゼロになつてしまいます。私たちが伝えていかねばと思います。」「などでした。大阪原水協として地域や団体と協力しながら、学校などでも開催していくことにしています。(大阪原水協 橋口)

初夏のとりくみ

【非核の会関係】

❖戦跡ウオーク

高谷二郎さんのガイドで巡る「タチノと古墳のまち・高槻」  
日時：6月1日(土) 9:30  
集合：JR 高槻駅 中央改札口  
参加費：資料代として500円(交通費は各自で)

❖非核の政府を求める会第38回総会

日時：6月8日(土) 13:30~  
会場：全労連会館 オンライン併用

【関係団体】

❖軍学共同いらない！市民と科学者のつどい

日時：5月11日(土) 15:00  
会場：国労会館1階ホール  
講演：池内 了名古屋大学名誉教授  
テーマ：軍事化する日本と科学の動員

❖大阪母親大会

日時：6月29日(土) 午後12:30受付  
会場：クレオ大阪中央  
記念講演：池内了名古屋大学名誉教授  
テーマ：宇宙から見た平和 国権より民権(仮題)  
協力券：1200円

❖国民平和前行進(6.30~7.7)

日時：6月30日(金) 11:35(予定) 柏原出発集会

